

1学期と2学期末に、保護者の皆様に「埴生中学校の教育に関するアンケート」を実施させていただきました。そして、9割近い皆様に回答をいただきました。ありがとうございました。

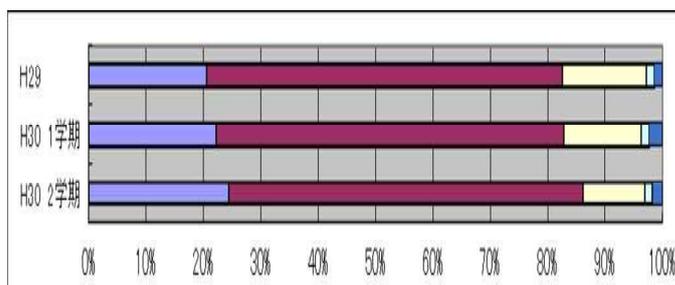
ここでは、学校目標と重点目標の達成度について、生徒に実施したアンケート結果も含めご報告します。また、保護者の皆様に書いて頂いた自由記述欄へのご意見と回答について、抜粋したものを載せましたのでご覧ください。

平成30年度 学校自己評価の報告

1 平成30年度 学校目標「自主自律」について

右グラフは、保護者アンケートの項目「お子さんは、自ら考え自ら行動しているか」の回答結果です。昨年度と同様に8割以上の保護者が「よくあてはまる」「あてはまる」と肯定評価の回答をし、さらに今年度2学期は、その割合はわずかですが増加しています。子どもたちの成長を家庭でもしっかりと評価していただいていることが伺えます。

左から、よくあてはまる / あてはまる / あまりあてはまらない / あてはまらない / 分からない



2 本年度の重点活動から

対話で学び、精一杯活動！ ～自分の考えを発信し、対話して学び合い、精一杯活動する～

- 1 対話で学び 気持ちよい挨拶・声かけ 自分の考えを積極的に発信 対話して学び合う
 2 精一杯活動 精一杯の歌声 精一杯の清掃 精一杯の努力

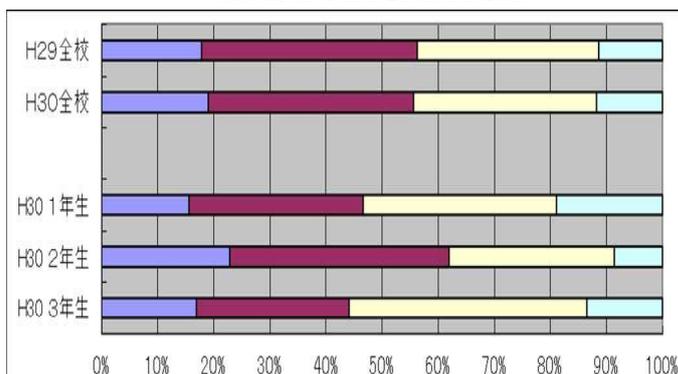
対話で学ぶ

重点活動の『対話で学ぶ』を、「授業中の発言の様子はどうか」「友達の発言で自分の考えが深まったか」の2つの結果から考察してみると、全校ではどちらの項目も昨年度とほぼ同じ結果となりました。『自分の考えを発信する』こと、また『対話で学ぶ』ことが、ある程度定着してきたことの表れであると捉えることができると考えられます。

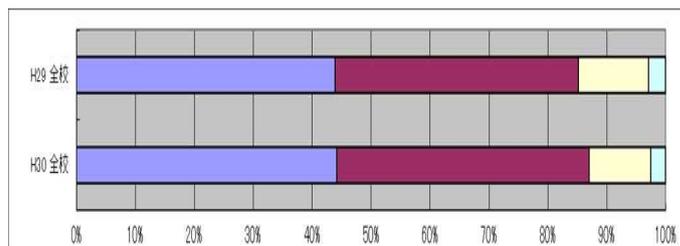
生徒が回答したアンケートの自由記述欄には、「(数学) 友達とどのように考えたのか話し合えるので分かりやすい。」「(理科、英語) 発言の機会をもっと増やしてほしい。」等の声が複数ありました。このような学習形態を増やしていくことが「対話で学ぶ」につながり、また理解度が高まることにもなると考えます。

来年度の重点目標は、今年度の「対話で学び精一杯活動！」をさらに一歩深め、「対話的・創造的に学び、精一杯活動！」とし、『熟慮した考えを発信』し、『対話的、創造的に学び合う』生徒の姿が見られる授業を目指したいと考えています。

授業などで意欲的に発言した



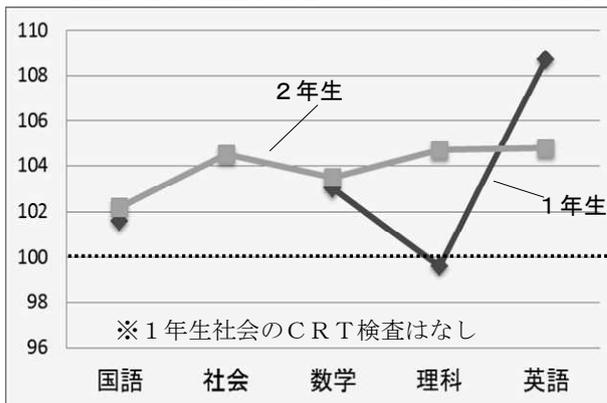
友だちの発言がきっかけとなり、自分の考えが深まった



CRT検査の結果から

右のグラフは、12月に実施したCRT検査（学習の理解度を見るための、全国規模で1,2年生が実施したテスト）の結果です。1年生理科以外の教科は、1,2年生ともにすべて全国平均を上回る結果となりました。（1年生理科で全国平均を下回った分野は、1学期に履修した「植物の生活と種類」。履修から時間が経過していることも要因であると考えられる）。今、来年度の授業づくりに向け、各教科でこの結果を分析しているところですが、先の「対話で学ぶ」のアンケート結果と併せ、生徒にとって分かりやすい授業のあり方や深い学びにつながる授業づくりをしていきたいと思ひます。

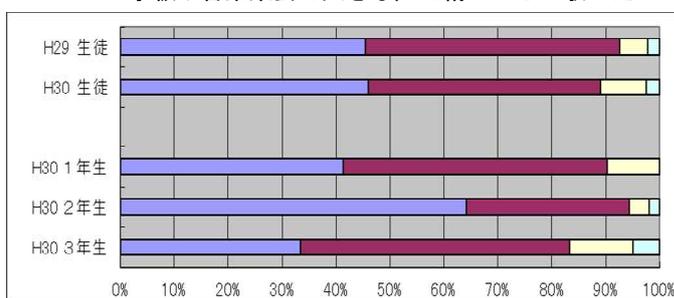
CRT検査の結果(全国平均を100とし、本校の結果と比較)



精一杯活動

「精一杯の歌声」について、生徒全体の捉えは、昨年度とほぼ同じ結果です。9月末に行われたおおとり祭の音楽会に向けて、どのクラスでも意欲的に合唱に取り組む姿が見られました。「歌声」も「発言」と同様に、自分の思いを発信する大切な機会であると考えます。今後も、「精一杯の歌声」が響くよう、学校内での音楽環境づくりをしっかりとしていくことが大切であると考えます。

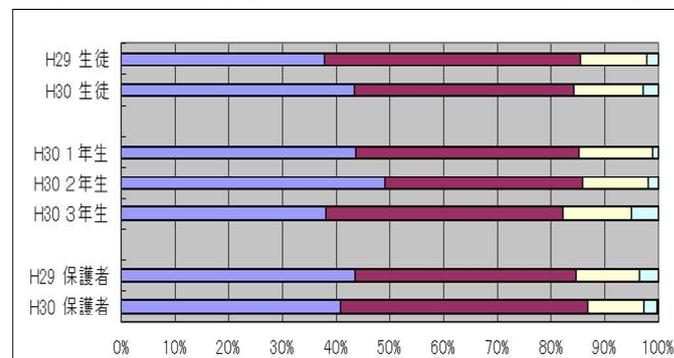
学級や音楽集会で大きな声で精いっぱい歌った



挨拶ができたか

「大きな声と笑顔で挨拶ができたか」(保護者には、「家庭で『おはよう』『おやすみ』等の挨拶ができてるか」)の調査結果です。生徒の意識は、「挨拶ができていゝ」生徒が8割を超えている一方、若干ではありますが「挨拶ができていない」とする生徒もいます。家庭においても、約85%の生徒は挨拶ができていゝと保護者も捉えています。学校において、挨拶ができていゝことを評価し、また職員からすすんで挨拶をすることを実践していきたく思ひます。

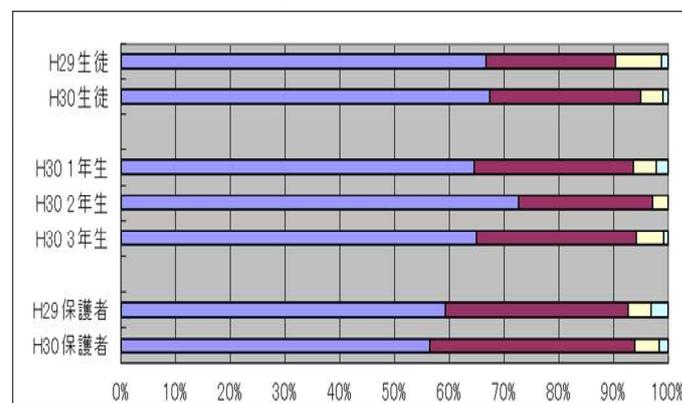
大きな声と笑顔で挨拶をした(家で「おはよう」等の挨拶ができる)



学校は楽しいか

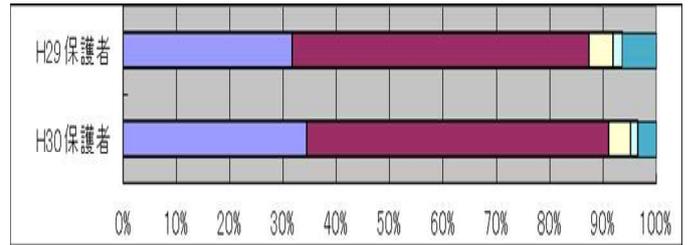
右グラフは「学校での生活は楽しいか(生徒)」「毎日元々良く登校しているか(保護者)」の結果です。「学校生活が楽しい」と感じている生徒が昨年度と同様に9割を超えています。これは、友達との関係が良く、落ち着いた学校生活を送ることができていゝ生徒が多いことの裏付けであると考えられます。しかし、中には、人数は僅かですが「あまりそう思わない」と感じている生徒もいます。個々の生徒の様子や人間関係等、今後もアンテナを高く張り、生徒の変化を、家庭と連携しながら捉えていきたく思ひます。

学校は楽しいか



3 その他（情報公開について）

右のグラフは、保護者に対して「要覧、HP、学校だよりなどで、学校の様子などを分かりやすく伝えているか」の回答結果です。約95%の保護者が、肯定的な評価をしています。学校からの様々な発信が浸透してきていると捉えることができると思います。今後も、学校の様子を学級、学年、学校だよりやホームページでお知らせしながら、学校に対する理解と協力をお願いしていき、開かれた学校づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



平成30年度 千曲市立埴生中学校 学校関係者評価

○学校関係者評価委員…学校評議員6名 PTA役員3名(三役) 学校運営委員21名

〈評価段階 5：期待以上 4：ほぼ期待どおり 3：ふつう 2：やや期待を下回る 1：改善を要する〉

	評価の観点	評価(平均値)		
		H28	H29	H30
1	本年度の重点目標及び活動について	4.3	4.3	4.2
2	楽しい学校、いじめのない居場所づくりについて	4.2	4.4	4.4
3	学力向上について	4.3	4.1	3.9
4	その他(情報公開 環境整備)について	4.1	3.9	3.9

〈学校関係者評価の感想記述より〉

- 地域における生徒の挨拶が気持ちよくできています。
- 登下校の時など、気持ちの良い挨拶を返してくれます。三世代同居の家族も多く、安定した生活を送っていて、とても良いことだと思います。
- 学校全体が（人も環境も）とても明るい雰囲気、保護者にも居心地の良い場所でした。
- 学級の様子、生徒会行事、部活動などを通して、一人一人が輝けるように配慮していただいているのがよくわかりました。
- 人権教育を大切に、校長先生を先頭に先生方・生徒の皆さんが、いじめや差別について問題意識をもって取り組んでいるように思ひます。
- 先生方の時間を削るようになってしまっても、いつも快く質問や相談に乗って頂いたと聞いています。ありがとうございました。
- 支援ボランティアの皆様にもよくお世話になりました。ありがとうございました。
- 学校だより等について、地域にも回覧していただき、生徒の活動や学校の様子がよく分かりありがたいです。
- 学校だより、学年だより、学級だよりが充実して、今何が取り組まれているのかよくわかりました。特に学校だよりは毎日とても楽しみで、地域でも好評でした。
- 大津いじめ訴訟の判決が出たが、今後、学校ではさらに生徒の行動には目配りし、保護者や地域と連携を密にして対応していくことが求められます。よろしくお祈りします。

保護者アンケート 自由記述欄へのおもなご意見と回答

◆学校生活に関すること

○学校生活や部活動などは、年上の人への礼儀や上下関係など、社会に出てからの人間関係をつくる上で良い機会だと思います。ぜひ学校としても子どもたちに話していただきたいと思います。

⇒ご指摘のように、小学校と異なり、中学校は部活動や委員会活動は礼儀等を身に付けていく大切な機会です。健全な人間関係を築くことができるよう、支援・指導をしていきたいと思います。

○夏には熱中症対策として水筒持参を許可して頂いていますが、冬にもインフルエンザ対策で水筒持参を許可していただきたいです。

⇒本年度は生徒会保健委員会の活動として、「かぜ予防週間」で冬期間に水筒にお茶を持参し、うがいを実施しました。今後も、必要に応じて検討していきます。

○来年の夏は30℃を超えたら半袖ハーフパンツの登下校を可能にしていきたいです。

⇒今後も暑い夏が予想されますので、今年度同様、状況に応じて迅速かつ柔軟に対応していきたいと思っています。

○カバンの重さが10kg以上にもなることが多く、登下校時など転倒・転落が心配です。特に中村新道は道幅が狭く危険だと思います。

⇒家庭学習など、学習計画をしっかりと立てて必要のない教材はロッカーに置いていくなどの指導を行っています。

◆学習面に関すること

○復習など、1日〇〇時間やりましょうだけではなく、家庭学習の方法・勉強のやり方を具体的に教えていただきたいです。

⇒年度当初に配布した「家庭学習のすすめ」に、それぞれの教科の学習方法が記載されています。それも参考にいただければと思います。授業でもそれを参考にしながら指導していきます。

◆部活動に関すること

○冬季の朝の部活動は時間が短いので、無くても良いと思います。

⇒冬期は放課後の活動のみだと一日30分程度の活動になってしまいます。活動時間を確保するために実施しています。多くの活動はできませんが、内容を絞って継続した活動で力をつけることができます。ご理解をいただきたいと考えます。

◆その他

○学校の資源回収時、回収場所にいる生徒が、もう少し気を働かせて車に積んだものを降ろしてもらえると助かります。

⇒ほとんどの生徒は気を働かせて活動できていますが、意欲的に活動できなかった生徒もいたようです。もう一度、資源回収の目的を一人一人の生徒が理解したうえで参加するように話していきます。

○学校や学年の雰囲気や取組み等、成果が出てきていると感じます。部活や日々の学習・行事等を通して成長が見られ、嬉しいです。

自由記述欄には多くの皆様からご意見をいただきました。記述から正確な状況把握ができないものもあり、その上での回答であることをご了承ください。今後も、お気づきの点等ありましたら忌憚なくご意見をお聞かせいただければありがたいです。より良い学校運営の参考とさせていただきます。